

※WebSAM JMSSは、2020年12月31日に出荷停止となりました。

i-PX7300RXにおいて、OLF/AD-BKのストレージ構成でジョブ連携する場合、WebSAM JobCenterを利用することも可能です。WebSAM JobCenterは、Ver15.4で動作検証を行っています。WebSAM JobCenterの利用方法を以下に説明します。

<バックアップ>

問題なく動作します。

<リストア>

そのまま実行した場合、JCMDコマンドの実行に失敗し、\$RESTOREプログラムが異常終了します。以下のどちらかの対応を行っていただく必要があります。

●オープン連携サーバから直接リストアする場合

この対応を行う場合、オープン連携サーバにて事前に以下の対処を行うことで、WebSAM JMSSのJCMDコマンド相当の機能を作り込みます。

- ①コマンドプロンプトを起動して「Where JCMD」を実行する。
「与えられたパターンのファイルが見つかりませんでした。」となることを確認する。
※JCMDのパスが表示された場合、そのシステムには、既にJCMDが存在しているため、オープン連携サーバから直接リストアはできません。
- ②「C:¥Windows」直下に、以下のファイルを作成する。
ファイル名：JCMD.bat
ファイルの中身：%1 %2 %3 %4

※注意事項

リストア中にジョブをキャンセルした場合、展開途中のファイルがバックアップフォルダに残ります。このため、リストア中にジョブをキャンセルした場合は、バックアップフォルダを確認し、不要なファイルを削除する必要があります。

●バックアップ連携専用ディスク経由でリストアする場合

この対応を行う場合、リストアの際に\$RESTOREプログラムのCOPY=DDRを利用してバックアップファイルをレプリケーションボリューム(RV)にリストアする代わりに、以下の操作を行います。

- ①ディスク管理ツールまたは\$OLFADBKプログラムのCOM=GETを利用して、バックアップファイルをバックアップ連携専用ディスクに転送する。
- ②\$RESTOREプログラムのCOPY=IXCALLを利用して、バックアップファイルをマスタボリューム(MV)にリストアする。

i-PX7300GXにおいても、同様の方法でWebSAM JobCenterを利用可能ですが、WebSAM JMSSの保守は2025年12月31日まで継続されるため、WebSAM JMSSの継続利用を基本とします。

なお、クロスコールボリューム構成の場合、WebSAM JMSSのみ利用可能です。